

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2026年5月26日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	先天性腸疾患における胎児MRI直腸内胎便信号と出生後予後との関連 — 単施設後方視的観察研究 —
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	増井 好穂
研究期間	本研究承認日～2030年3月31日
対象者	2010年1月より2025年12月までの15年間に当院で先天性腸閉鎖が疑われ胎児MRIを実施した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	<p>先天性腸閉鎖などの先天性腸疾患は、多くの場合は良好な経過をたどりますが、一部では短腸症候群や腸の働きの低下（腸管機能不全）などにより、治療が長期にわたることがあります。このような重症例を出生前に予測できれば、出生後の治療をよりスムーズに行うことができるだけでなく、ご家族への説明や支援の充実にもつながると考えられます。胎児MRI検査では、腸の中にある胎便（赤ちゃんの便のもと）を画像として確認することができます。これまでは主に腸の閉塞している部位の推定に用いられてきましたが、出生後の経過との関連については十分に明らかになっていません。</p> <p>本研究では、胎児MRIにおける直腸内の胎便信号に注目し、その有無や程度と出生後の経過との関連を明らかにすることを目的としています。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別など）、・臨床データ（胎児MRI画像検査結果、病理検査結果など）・転帰（新生児期、乳児期の情報など）・手術情報 など <p>また、個人を特定できる情報については匿名化を行います。</p>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 産科 増井 好穂 代表 054-247-6251